

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】令和4年4月20日(2022.4.20)

【公開番号】特開2020-151713(P2020-151713A)

【公開日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2020-039

【出願番号】特願2020-100906(P2020-100906)

【国際特許分類】

B 01 J 13/14 (2006.01)

10

C 08 G 12/32 (2006.01)

【F I】

B 01 J 13/14

C 08 G 12/32

【誤訳訂正書】

【提出日】令和4年3月1日(2022.3.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

20

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カプセルを製造するための方法であって、

界面活性剤、コア物質及び水を含むエマルジョンを調製する工程；

エマルジョンへ架橋剤を添加し、選択された粒径となるようエマルジョン中に架橋剤を均質化して、全体的に均質化されたエマルジョンを形成する工程であって、

前記架橋剤は、環状尿素(U)と多官能アルデヒド(A)の反応生成物を含み、

そのヒドロキシル基は、1つまたは複数の直鎖、分枝または環状脂肪族アルコールで場合によりエステル化される、工程；

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを、混合しながら均質化工エマルジョンに添加し、その後メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを重合する工程

を含み、

前記メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して1:1から4:1の重量百分比で存在する、方法。

【請求項2】

エマルジョンを調製する工程が、界面活性剤及び水を含む水性相を調製すること、相変化物質を溶解すること、ならびに、相変化物質の溶解に続いて、混合及び加熱しながら相変化物質を水性相に添加することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを添加する工程が、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーの第一の添加とそれに続くメラミンホルムアルデヒドプレポリマーの第二の添加を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

得られるカプセルは、カプセルが製造された後、100 ppm未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して1.5:1から3.75:1の重量百分比で存在し、得られるカプセルは、カプセルが製造された後、20 ppm未満の最

40

50

初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

得られるカプセルが、10 μmから10000 μmの平均粒径を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して1.5:1の重量パーセント比で存在し、得られるカプセルは、カプセルが製造された後、10 ppm未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

カプセルを製造するための方法であって、

界面活性剤、コア物質及び水を含むエマルジョンを調製する工程；

架橋剤を含むメラミンホルムアルデヒドプレポリマーを調製する工程であって、

前記架橋剤は、環状尿素(U)と多官能アルデヒド(A)の反応生成物を含む、工程、

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを混合しながらエマルジョンに添加し、その後メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを重合する工程  
を含み、

前記メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して1:1から4:1の重量パーセント比で存在する、方法。

【請求項 9】

メラミンホルムアルデヒドプレポリマーを添加する工程が、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーの第一の添加とそれに続くメラミンホルムアルデヒドプレポリマーの第二の添加を含み、第一の添加物、第二の添加物、またはその両方が架橋剤を含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

第一の添加物と第二の添加物の両方が架橋剤を含み、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して1.5:1から3.75:1の重量パーセント比で存在し、得られるカプセルが、カプセルが製造された後、60 ppm未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

第一の添加物と第二の添加物の両方が架橋剤を含み、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して1:1から1.5:1の重量パーセント比で存在し、得られるカプセルは、カプセルが製造された後、40 ppm未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

得られるカプセルが、カプセルが製造された後、45 ppm未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

得られるカプセルが、カプセルが製造された後、75 ppm未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

第二の添加物が架橋剤を含み、メラミンホルムアルデヒドプレポリマーが、架橋剤に対して1:1から1.5:1の重量パーセント比で存在し、得られるカプセルが、カプセルが製造された後、40 ppm未満の最初の遊離ホルムアルデヒドを有する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 15】

請求項 1 または 8 に記載の方法により製造されるカプセルであって、

架橋剤と反応する、メラミンホルムアルデヒドを含むポリマー・ウォールを有し、

架橋剤の環状尿素が、メラミンホルムアルデヒドのアミン、アルコール及びエーテル部分と相互作用する、カプセル。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】図面

10

20

30

40

50

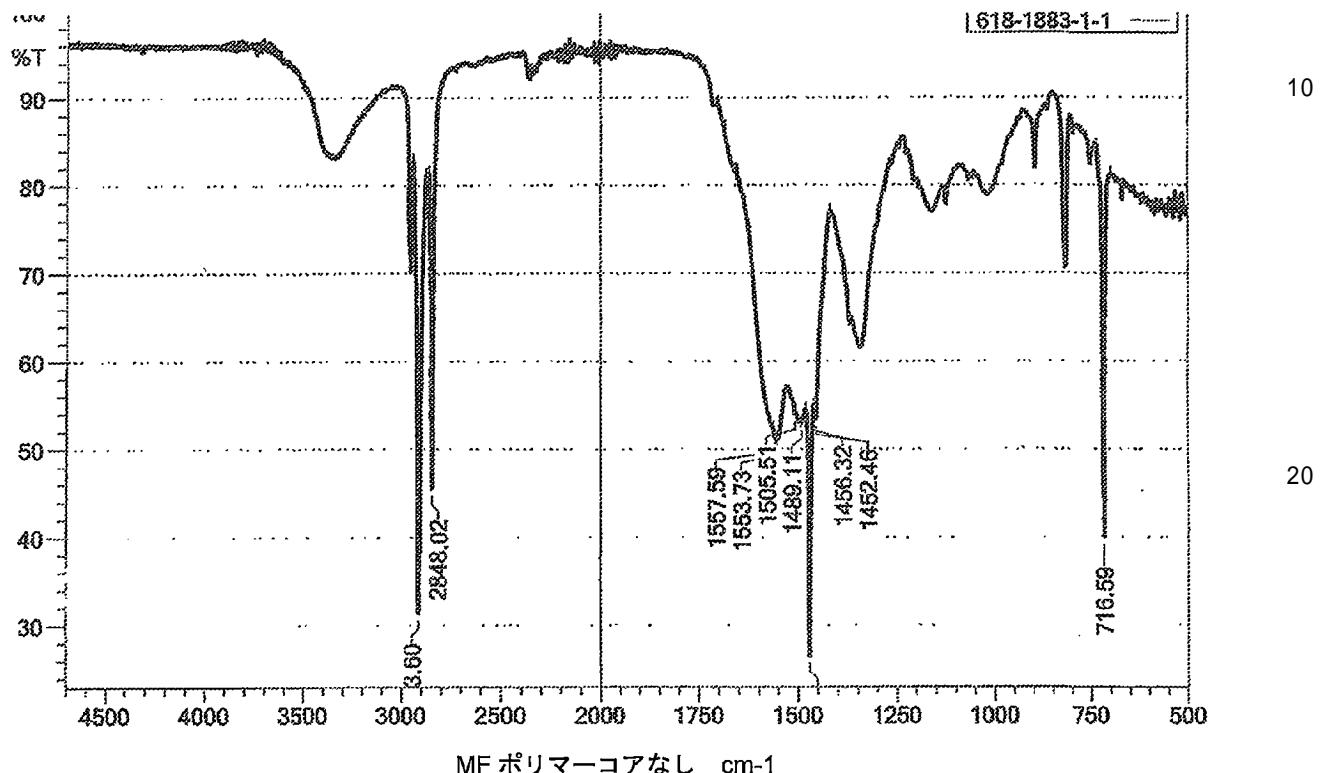
【訂正対象項目名】図 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図 5】

**FT-IR スペクトル**  
**架橋剤を有さないメラミンホルムアルデヒドカプセル化オクタデカン**



	ピーク	強度	対応強度	ベース(H)	ベース(L)	エリア	対応エリア	コメント
1	716.59	40.06	43.99	732.98	697.30	902.891	292.844	
2	1452.46	53.37	1.91	1454.39	1415.81	1251.103	77.248	
3	1458.32	53.81	0.80	1458.25	1454.39	176.607	1.496	
4	1470.79	26.49	28.25	1478.50	1468.25	1091.026	176.820	
5	1489.11	52.98	0.47	1491.04	1478.60	680.883	2.890	
6	1505.51	53.95	0.47	1513.22	1503.58	435.264	0.464	
7	1553.73	51.04	0.38	1555.66	1550.89	238.317	0.985	
8	1557.59	51.38	0.42	1561.44	1555.66	279.063	0.369	
9	2848.02	46.52	33.45	2865.33	2793.05	1406.294	448.290	
10	2913.60	31.57	50.65	2844.46	2878.88	2324.032	1141.981	

30

40

50